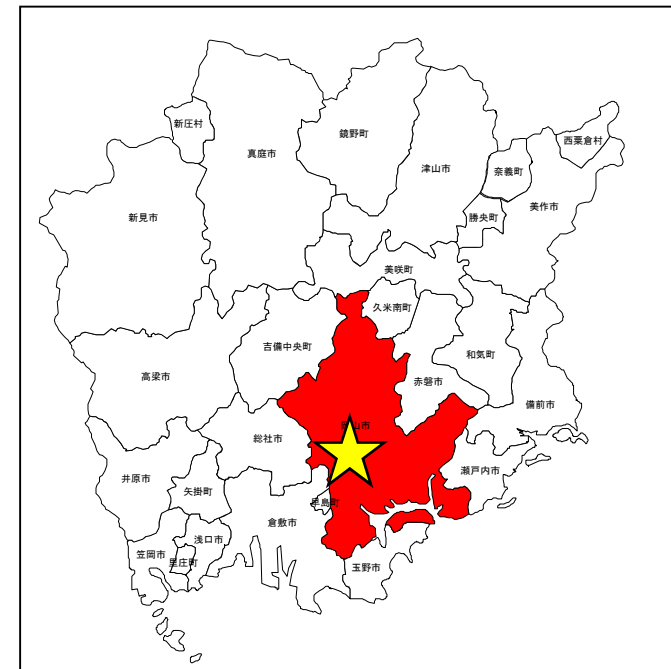


申請内容（吉備の中山）

審議会資料 1 - 2

申請団体	吉備の中山を守る会
申請区域	吉備の中山（中山小学校区）
シンボル	キビノミノボロスゲ



シンボル（キビノミノボロスゲ）の概要

分布状況：

日本では本市の吉備津彦神社のみで確認されている。国外では、朝鮮半島や中国に生育している。

主な特徴：

日当たりの良い、やや湿った草地に生える多年草。有花茎は高さ60～80cmとなり、先端に無数の小穂を密につける。近縁種にミノボロスゲやツクシミノボロスゲがあるが、キビノミノボロスゲだけに果胞の上部に赤みがかかった瘤状の突起物がある。

指定状況：

環境省：絶滅危惧IB（EN）

岡山県：絶滅危惧I類

岡山市：天然記念物

吉備の中山とキビノミノボロスゲ の生息場所について



申請団体について

○団体の発足時期等

平成15年に「吉備の中山を守る会」発足。
現在の会員数は約180名。

○目的

吉備の中山とその周辺の史跡・遺跡・伝承・自然などの保護・顕彰・活用に努めるとともに、会員相相互の親睦を図り、地域の活性化に貢献することを目的とする。

主な活動内容

(1)	地域の歴史・伝承・自然などの学習・調査・研究・資料収集など
(2)	遺跡・史跡などの清掃及び自然環境の整備保全
(3)	文化的・歴史的なイベントの企画と実施
(4)	学校・公民館・町内会などが実施する活動のうち、会の活動と関連するものへの協力
(5)	会員相互の親睦を図るための活動
(6)	その他、会の目的達成に必要な活動

上記の大きな活動の枠組みの一つとしてキビノミノボロスゲの保全活動を実施している。

具体的には、キビノミノボロスゲの生活史を考慮した上で、年4回ほど生息地の草刈り等を行っている。

小学校の環境についての授業でも、毎年、キビノミノボロスゲについて話し、保全についての理解を深めている。

自然環境の整備保全活動の様子



今後の展望等

- 申請団体においては、キビノミノボロスゲの保全活動に留まらず、広域にわたる自然環境の整備保全を実施している。また、地域の歴史・伝承等に関わる活動も積極的に行っており、その内容は他に例をみないほど広範囲にわたるものである。
- 申請団体の会員数は約180名と多いほか、学校園等とも協力し、地域の子どもたちとの関わりも大切にしている等、活動の継続性も十分に期待できる。

認定基準の適合状況

(1) シンボル：ア及びイを満たし、ウ又はエのいずれかを満たすこと

ア 申請区域内に生息又は生育している在来種（以下、略）	○
イ 申請区域において、保全活動への地域住民、土地所有者等の参画を促すことができると認められる種	○
ウ 絶滅のおそれのある野生生物	○
エ その生息又は生育が良好な自然環境の指標となり得る野生生物	

(2) 申請区域

ア 将来にわたって良好な生物多様性の保全が期待されること	○
イ 申請区域の住民間で保全活動に関する共通の理解が図られ、申請区域に含まれ、又は申請区域を含む各小学校区内において、概ね統一した保全活動の実施が見込まれること	○